

Press Release



TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.

2022年9月21日

各 位

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 合田 一朗
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
証券コード 8616 東証プライム・名証プレミア

「中期経営計画」における数値目標設定のお知らせ

当社は、本年5月23日に公表した中期経営計画「“Beyond Our Limits” ～異次元への挑戦」(以下、「本計画」という)における数値目標を設定しましたので、お知らせいたします。

1. 本計画における数値目標の構成

本計画は、『誇り』と『憧れ』を感じる企業グループとなるために、「“Social Value & Justice” comes first」を行動指針として、「異次元の世界」への到達に挑戦するものです。そのための戦略の基本方針として、「金融力の強化」による当社グループの魅力の大きな向上、「異次元に向けた重点施策」による“Powerful Partners”とのアライアンス、“New Bonanza”として新規機能の獲得へ取り組んでまいります。

本計画における数値目標は、上記の構成に基づき、グループ KGI として当社グループ全体が一体となり追及する目標を定め、グループ KGI を達成するための KPI として、「金融力の強化」および「異次元に向けた重点施策」に紐づく財務 KPI と“Social Value & Justice” KPI を決めました。

「金融力の強化」とは、当社グループの基盤である証券を中心としたビジネスモデルの強化を指し、当社グループの魅力となる独自性・優位性等を生み出すための核となる取り組みです。また、「異次元に向けた重点施策」は、当社グループとしての新たな挑戦を指し、「金融力の強化」で生み出した魅力を基に、当社グループの新たな収益の柱を築くための取り組みを指します。進化を続けるデジタル戦略に加え、当社グループにはない事業基盤を有する他業種企業等の“Powerful Partners”とのアライアンス構築や、新たな領域である銀行機能の獲得などを“New Bonanza”で狙ってまいります。

ビジネスストラクチャーの確立している「金融力の強化」では「収益力向上」「安定収益構造」「生産性向上」という3つの方向性に則した具体的な KPI を設定し、新規のビジネスストラクチャーを創り上げる「異次元に向けた重点施策」では KPI として経常利益を決めました。

“Social Value & Justice” KPI は、「“Social Value & Justice” comes first」に紐づく「よりよい社会に」「凡事徹底」「わくわく」という3つの観点に基づいて KPI を設定しております。

2. 本計画における KGI および KPI

グループ KGI として、ROE 12%、預かり金融資産 12 兆円を設定しました。財務 KPI および

“Social Value & Justice” KPI は下図のように定めております。また、M&A を通じた経常利益の獲得も視野に入れております。

中期経営計画のKGIおよびKPI



- * 本 KGI は 2023 年 9 月末の日経平均予想を 34,000 円とする東海東京調査センターのハウスビュー等、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて設定しております。市場環境が大きく変動する場合は、数値目標を見直す場合があります。
- * 1 預かり金融資産は、顧客の金融資産（証券、預金、保険等）のうち当社グループで管理する預かり残高。
グループ KGI における預かり金融資産 12 兆円は 2027 年 3 月末時点のグループ全体の目標を示し、そのうち「金融力の強化」の領域で残高 10 兆円、「異次元のための重点施策」等の領域で残高 2 兆円を目指す。
- * 2 安定収益は残高連動収入や継続的に発生する収入（投信信託報酬、ラップ、信用金利、保険継続分、証担ローン、投資助言等）。
- * 3 NPS[®]は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標。「Net Promoter Score (ネット・プロモーター・スコア)[®]」の略で、正味推奨者比率と訳され、顧客ロイヤルティ（企業やブランドに対する愛着・信頼の度合い）を数値化する指標。

以上

本件に関するお問い合わせは、広報・IR部 03-3517-8618 までお願いいたします。

(別紙) 本計画の全体像

中期経営計画の構造

